

「手話言語条例」

5会派が共同して条例づくり 都議会ですすむ新しい試み

今年の都議選で日本共産党、立憲民主党が前進し、自民党、公明党合せても過半数にならない、という事態が生れたことにより、都議会では「子どもの権利条例の満場一致の修正成立」「コロナ対策特別委員会の設置」などの前向きの変化が生まれました。こうした変化をつくり

例」というものです。手話が「言語」であることを明確に位置づけ、聴覚障害のある人のコミュニケーション能力保障の向上を図ることが目的です。

各党の担当都議が共同チームをつくり、関係団体の意見をきき、有識者からの話をきいて条例案づくりをすすめます。

これが実現すれば全国でも初めてのことで、日本共産党での担当者は大山とも子、藤田りょう子都議です。

18才までの医療費助成

共産党が条例提案 医師会などへの申し入れも

日本共産党都議団は11月30日から開かれている第4回定例都議会に、「子どもの医療費の助成に関する条例」と「青少年の医療費の助成に関する条例」の2つの条例案を提案します。

前者は現在も行われている15才までの子どもの医療費2分の1助成を、3分の2まで東京都が引き上げるというもので、これは23区ですでに実施されていますが、多摩地域の市町村では財政事情から実施されていないところもあり、これを全都で統一できるように東京都が財政支援するというもの、後者はこれを18才まで引き上げるものです。

日本共産党都議団は提案に先立って、和泉なおみ

幹事長を先頭に都庁内で記者会見を行うとともに、東京都医師会、同歯科医師会、同薬剤師会を訪問し、条例案を説明、「実施のためちからをお貸し下さい」と協力をお願いしました。



記者会見を行う日本共産党都議団
右から4人目が和泉都議【写真：赤旗提供】

なおみの さわやか エッセー

新宿の空と葛飾の空

都庁を出て甲州街道を走っていると、新宿駅南口を左に見て正面に、大きな月が出ていることがあります。新宿で月を眺めるのは大変で、超高層ビルに切り取られた小さな空の、隙間に見える月は、とても大きく感じます。その月も、葛飾に帰ってくる頃には、かなり高いところまで昇っていますが、大きな空にぽっかりと浮かぶ月は、その周りに光輪をまどって、冴え冴えと明るく輝いています。

葛飾にきた人から、「空が広いね」と言われます。それを聞いたたびに、私は思います。「そうなんだ、葛飾に帰ってきたときに、ほっと気持ちが安らいで解放感を感じるのは、この空の大ききのせいなんだ」

家々が、隣同士手をつなぐように建っていて、人々が声を掛け合い、気に掛け合いながら暮らす、この街の上には、こんなにも大きな空が広がっている。そう思うと、なんだかうれしくなってきます。

この空を小さく切り刻む超高層ビルは、人々の暮らしぶりまで変えてしまうようで、やっぱり嫌なんです。



和泉なおみの 幹事長日誌

- 9日 木下都議の件で公営企業委員会開けずー対応をめぐって自民党と協議
- 10日 議会のあり方検討会打合せ
- 12日 議会運営委員会理事会
- 15日 木下議員への対応について断続的に会議・他会派と打合せ
- 16日 予算概要説明
- 17日 定例会提出案件について副知事から説明
- 18日 木下議員体調不良で議会運営委員会質疑に欠席
議会運営委員会理事会・委員会
MXテレビインタビュー取材
木下議員問題の取材（読売新聞、フジテレビ、MXテレビ、CBCテレビ、東京新聞）
- 19日 木下議員問題の取材（フジテレビ、毎日新聞、テレビ朝日）の取材
- 22日 木下氏議員辞職の記者会見
- 24日 議会運営委員会理事会・委員会
都議団弁護団との会議
- 25日 都議会連絡調整本部会議
- 26日 手話言語条例ワーキングチーム（大山議員の代理で出席）
- 29日 警察消防委員会
- 30日 議会運営委員会理事会
本会議開会
- 12月
- 1日 建通新聞インタビュー
- 2日 東京都歯科医師連盟会長と懇談
- 3日 MXテレビ収録
議会運営委員会理事会
条例提案・若者調査の記者会見
- 7日 本会議代表質問
- 8日 本会議一般質問

日本共産党都議会議員

和泉なおみの

生活・年金・法律相談

2022年1月12日(水)午後2時より

事前にお電話ください

場所 和泉なおみ事務所